



高め合い 伝えていこう 茶のころ
～広い大地 心はひとつ～

輝 き ～想いを紡ぐ～
45th

茶道裏千家淡交会青年部北海道ブロック

創立45周年記念誌

と き：平成27年11月22日

ところ：札幌プリンスホテル

目次

利休居士道歌	2
ことば・青年部綱領	3
祝辞 坐忘齋 千宗室 お家元	4
祝辞 鵬雲齋 千玄室 大宗匠	6
祝辞 北海道地区地区長 吉野次郎	8
ご挨拶 北海道ブロックブロック長 宮川寛隆	9
日程	10
記念講演会	11
青年部年間活動報告	12
北海道ブロック四十五年のあゆみ	29
北海道ブロック歴代役員一覧	38
平成二十七年度北海道ブロック役員名簿	40

利休居士道歌

その道に入らんと思ふ心こそ
我身ガミがらふれ師シ近チカありけれ

ことば

私達は茶道の真しんの相すがたを学び、それを実践にうつして、たえず己れの心をかえりみて、一皿を手にしては多くの恩愛に感謝をささげ、お互いに人々によって生かされていることを知る茶道のよさをみんなに伝えるよう努力しましょう。

一、他人をあなどることなく、いつも思いやりが

先にたつように

一、家元は親、同門は兄弟で、共に一体であるから、

誰にあっても合掌する心を忘れぬように

一、道を修めなお励みつつも、初心を忘れぬように

一、豊かな心で、人々に交わり、世の中が明るく暮ら

せるように

青年部綱領

われわれ茶道を愛好する青年としての自覚により、淡交会の諸活動に協力し、お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、同志的結合によって結ばれた友情と情熱で正しい地域社会発展のために努めよう。



祝 辞

伊藤宗匠

北海道ブロック四十五周年記念行事が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

ブロックの皆さんには、親支部の先生、歴代役員・会員はじめ多くの先達のご努力により今日ここに集い合えることに感謝し、その心を受け継ぐよき機会としていただくよう願っております。

利休居士の残された教えに「和敬清寂」という言葉があります。自分と和み、人と和もう。自分を敬い、人を敬おう。自分の心に清らかなものがあり、人の心にも清らかなものがあることを信ずる。そして毎日毎日をしっかり生きていく、共に生まれ、共に死んでいこう。——その根本精神は「一期一会」と言い換えることもできます。歴代宗匠はじめ茶

の湯に携わる方々は利休居士の思いを軸に、その時代ごとの和敬清寂を自ら考え、実践されてきました。皆さん方もそれぞれに情熱を持って修練を重ねておられることと存じます。

人生に近道はありません。ステップアップするためには、順番に一つひとつ極めていくこと。突然山の頂上に登ったり、一階から二階へ飛び上がれるわけがありません。階段であればお一人ずつの歩幅に合せ一段ずつ上らなければ何事も身に付きません。自分の心を身体を、高みへと進められるのは己だけだということを忘れないでいただきたい。多くの先達がそうした歩みを重ねてこられたからこそ今があります。

種から芽吹き、枝葉を広げ成長をしてきた北海道ブロックという大樹。皆さん一人ひとりが葉であり、幹であり、根であるわけです。これからもその土壌から滋養を得ながらどっしりと根を張り、周りに優しい木陰を投げかけられる頼もしい存在であり続けていただきたいと存じます。

貴ブロックの益々のご発展と皆さま方のご健勝を祈念し、祝辞といたします。

合掌



祝 辞

千
玄
海

初雪の舞う季節、札幌市において淡交会青年部北海道ブロック四十五周年記念行事を開催されますこと、嬉しく存じ御祝い申し上げます。

開催にあたり、ご配慮、ご尽力をいただきました多くの関係各位に心より感謝いたします。

貴ブロックは昭和四十五年に札幌において結成、発会式を挙行しました。そして親子そろって活発な活動が繰り広げられ、本年四十五周年記念行事を執り行うに至ったことは、真に意義のあることであります。これも親支部会員はじめ、歴代のブロック長、折々の役員・会員のご努力があればこそと存じ、ここに深甚なる謝意を表します。

さて、世界はまさに二十一世紀の大混乱のなかで、大きな危機に直面

していることは誰しもがよくわかっていることと思います。私は茶人という立場を通じて日々茶を行じ、一盃を捧げ念ずることにより、少しでもこの世の中が明るく平和になればと願い、世界に向かって茶道を通じて平和哲学を説いてきました。

それが、「一盃からピースフルネスを」という理念ではありますが、世界の現状を鑑みて、この言葉の重みを今改めて痛感しているところです。道のりは遠くともあきらめてはならないのです。

皆さんが修道されている茶の道というものは、芸や技を競うものではありません。

茶の道とは心豊かな場をお互いに醸し出し、よきヒューマンコミュニケーションをつくり、共に差別のない人間として、お互いを見出す生涯の修練の場であると心得ていただきたいのです。そうすることでお互いの「仕合わせ」が生まれるのです。

最後になりましたが、ご参加の皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、祝辞といたします。



青年部の更なる飛躍に期待

北海道地区地区長

吉野次郎

茶道裏千家淡交会青年部北海道ブロックの創立四十五周年、誠におめでと
うございます。心からお慶び申し上げます。

また日頃、ブロック長を中心として、全道十七の青年部が一体となり、裏千
家茶道の発展、ならびに地域貢献に向け輝かしい成果を挙げておられることに、
心から敬意を表します。

いま、日本は戦後七十年という大きな節目を迎えておりますが、その間国際
情勢の大きな変化の中で、日本国内にあっても、経済、安全保障、社会福祉な
どの面で、難しい対応が求められており、国民の将来への不安が、高まってい
る様に思われます。

そうした中で、長い歴史のもとで培われた、日本の良い点を今一度思い起さ
なければならぬという気運が高まってきていると感じます。

茶道は正に、日本の文化そのものであり、裏千家淡交会の活動を通して、そ
の良さを広く国民に伝えていくことは、国民の心の安定と、世界平和への貢献
に、大きな役割を果たすものであります。

裏千家茶道の発展には、とりわけ組織の中核をなし、将来を支える青年部の
充実・強化が最も重要であることは、自明であります。

学校茶道の伸びを、如何にして青年部に結びつけるかが、急がれる課題であ
り、知恵を出し合い、その解決策を見出して頂きたいと期待するものでありま
す。

これまでの皆さんの御努力に感謝致しますと共に、今後一層のご尽力を賜り、
青年部が更に飛躍・発展されることを願い、お祝いの言葉と致します。



ご挨拶

北海道ブロックブロック長

宮川寛隆

「輝き（想いを紡ぐ）」
本年、茶道裏千家淡交会青年部北海道ブロックが発足し四十五周年を迎えることができました。

今日まで歴史を積み重ねてこられたのはひとえに、坐忘齋お家元、鵬雲斎大宗匠はじめ、ご宗家の皆様、総本部の皆様、そして北海道地区役員の皆様、諸先生、諸先輩の皆様の温かいご指導ご支援と、心を共に活動してきた青年部会員のご協力の賜物と、深く感謝を申し上げます。

大きく移り変わる時代の中、四十五年という重みは諸先輩が数々の苦悩を乗り越えてこられ、培ってこられた賜物だと感慨しく、繋いで頂いた想いの歴史を今改めて強く感じているところでございます。

これからも私たちが青年茶人として、諸先輩の想いを変わらぬ紡いでいき、全道各地に強い絆で結ばれた仲間と共に力を合わせ、一層の「輝き」を持って青年部の更なる発展のため精進して参ります。

北海道ブロックも一昨年、十七青年部として新たなスタートを切り、今年で三年目を迎えました。

十七青年部が同じ目線で、「修練・奉仕・友情」の青年部三信条を拠り所とし、友との絆を大切にしながら、これからの青年部活動を続け、今こそ存在意義を発揮していかねばなりません。

来年は、福島県いわき市で「ナショナルコンファレンス二〇一六inいわき」が開催されます。

お家元が仰られる「東日本大震災被災地の復興支援」を目的の一つに掲げ、私たち青年茶人が一碗をもって、今何を出来るのかを考え、いわきの地により添った活動を実践することで、そのことが自ずと青年部の未来に向けたヒントとチャンスにつながると信じています。

青年部として、いつの時代も変わることのない茶道の精神を心に刻み、新しい時代に向けて探求する気持ちを忘れず、次代への架け橋となりますよう努めて参ります。

結びになりましたが、皆様には今後とも青年部に対する変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

茶道裏千家淡交会青年部
北海道ブロック創立45周年記念行事

日 程

呈 茶 席 10：00～13：30 札幌プリンスホテル国際館パミール

受 付 11：00～14：00

記念式典 14：00～14：50

式次第

- 一、開会の辞
- 一、利休居士道歌唱和
- 一、ことばの唱和
- 一、黙 禱
- 一、青年部綱領唱和
- 一、来賓紹介
- 一、歴代ブロック長紹介
- 一、ブロック役員紹介
- 一、ブロック長挨拶
- 一、総本部祝辞
- 一、来賓祝辞
- 一、祝電披露
- 一、閉会の辞

記念講演会 15：00～16：30

祝 賀 会 17：00～19：00

記念講演会

講師

千家十職土風炉・焼物師 十七代 永樂善五郎氏

「京焼とわが家」

青年部年間活動報告

函館青年部

部長 石田 智子

函館青年部は、函館市近郊を中心に道南地域に住む会員二十六名で「仲間と共に、楽しく学ぼう茶の心」をテーマに掲げ活動しています。



会員それぞれが仕事を持ち、なかなか一堂に会する機会が得られないのですが、行事を通じお茶を楽しみ、お互い交流を深めております。

函館青年部で行っております行事を紹介します。

【大寄せ茶会】

お世話になっていている先生方、先輩方をはじめ、一般の皆様にも気軽にお茶を楽しんでいただくようと毎年、テーマを設けて開いております。平成二十六年年度の大寄せ茶会では、五稜郭築城一五〇周年と節目の年を迎え、開催翌日が十六夜でもあったことから、幕末の志士にも五稜郭の秋や月見を楽しんでいただくこととの思いをこめました。星形の水指を五稜郭に見立て、刀の鏢に似ていると七宝透の香合を使用し、月の満ち欠けを描いたお茶碗を用意するなどの工夫



を凝らし、お客様にご好評いただけました。

【小寄せ茶会】

年一回、青年部内で新入会員歓迎や青年部卒業記念を兼ねて正午茶事を行っております。平成二十七年度は在原業平の「かきつばた」の折歌と東下りを題材に道具組みをし、会員が手分けして点心を作り、新入会員をお客様として迎え和やかなひとときを過ごしました。

【呈茶訪問】

毎年ひな祭りの頃に、函館

市内の特別養護老人ホームへ呈茶をさせていただいております。入所者様の状態に合わせ、とろみをつけてお召し上がりいただくなど普段のお茶会などとは異なる部分がありますが、呈茶を楽しみにされている入所者様もいらっしゃると伺い、大変励みになっております。

【手作り教室】

お茶に関わるものを自ら作ることで、よりお茶に親しむため、手作り教室を開いております。これまでに茶杓、古帛紗の作成や、点心や和菓子作りなどをしてきました。平成二十七年度はキリール陶房の高井秀樹先生を講師にお迎えし、茶碗を作陶しております。十月に開く大寄せ茶会で作陶したお茶碗をお出しし、お客様に楽しんでいただく事を目標に会員一同取り組んでおります。

小樽青年部

部長 山田 郁代

小樽青年部は、「運河と坂のまち 小樽」を拠点に、小樽、札幌、余市、倶知安、岩内、共和、江別などから会員が参加して活動を行っています。

毎年、春に入会式を開催し、



卒業茶会

新たに青年部に参加する会員を一皿とともに歓迎し、会員同士の交流を深めています。

秋には、卒業する会員をお招きし、これまでの感謝の気持ちを込めて、小樽市公会堂に併設されている茶室「南樽軒」にて卒業茶会を開催しています。

また、今年六月には、茶室「南樽軒」において、小樽青年部を卒業された先輩をお招きして、小寄席の交流茶会を開



先輩方をお招きしての交流茶会

催しました。卒業された先輩方と青年部会員の交流を図る目的と、来年の小樽青年部発足五十周年に向けて、先輩方にお知恵とお力を借りたいというお願いのため開催いたしました。主菓子は、青年部会員で「水無月」を手作りし、心を込めた一皿とともにおもてなしいたしました。先輩方は大変喜んでくださり、当時の思い出に笑みもこぼれ、現役会員との大変良い交流の機会となりました。

また、毎年、ガラス茶碗作り、和菓子作り、陶芸などの製作体験を実施しています。ガラス茶碗作りでは、各自が色、模様、形など思い思いのイメージで作成し、それぞれの個性あふれるガラス茶碗となりました。

小樽青年部は、会員が少ないですが、親支部の先生方にご支援をいただきながら、皆



和菓子の製作体験

で協力して活動に取り組んでいます。様々な活動を通じて、一人一人が茶道について学ぶとともに、会員同士の交流を深めています。



製作体験で作った和菓子

札幌第一青年部

部長 木野 奈美

札幌第一青年部は、今年度の年間テーマ「輪」になって、伝えよう「和の心」を掲げ、現在一〇一名で活動しております。相生の樹のように、平成二十五年度に柏と楡という二つの青年部が一つとなり、毎年開催している北海道開拓の村市民呈茶、児童養護施設「天使の園」訪問のほかに、研修行事や卒業のつどいなどといっ



北海道開拓の村市民呈茶



機関紙「北翔」

た会員相互の交流を深める行事を盛り込み、年間を通じて四つの委員会を中心に特色ある行事を開催しております。また、恒例となっている「札幌第一青年部茶会」では、趣向を凝らしたお席で親先生や社中の皆様にご好評いただいております。

二十年以上も発行してきた機関誌「北翔」が、北海道ブロックホームページが開設されると共に、「北翔デジタル版」として生まれ変わりました。従来は一年に一度だった北翔の発行を行事毎に掲載することで、青年部の活動をタイムリーに読んでいただけるようになりました。親支部、学校茶道には、青年部がどんな行事を行っているのかを知っていただくためにも印刷したも

のを配布し、安心して青年部へ送り出していただくための情報提供に役立てております。そのような私たち札幌第一青年部の活動をご紹介しますべく、「魅力ある青年部を目指して」と題して平成二十五・二十六年年度優秀青年部・優良青年部表彰のエントリーをしたところ、去る平成二十六年十二月六日に開催された淡交会青年部第五十三回全国代表者会議において、優良青年部として受賞することができました。

会議の席において、「親支部との連携」「学校茶道との連携」を強めることで、青年部、学校茶道をそれぞれ理解するたために、連携事業や互いの行事



ブロック研修会スタンツ「CATS」



平成27年度定期総会にて

に参加して交流を深め、茶道継続のための道づくりに励んできた私たちの活動をご紹介します。お家元、大宗匠がこのよう

な機会を与えてくださったことで、札幌第一青年部の今までの歴史や活動を振り返り、今後へつなげていくきっかけとなりました。

お茶のご縁で結ばれた仲間とともに、新たに出会うであろうご縁を迎えられるよう、楽しく、魅力ある居場所づくり、道づくりをしてまいります。

札幌第二青年部

部長 川本 聖

北海道ブロック創立四十五周年おめでとうございます。

私たち札幌第二青年部は、毎年の活動としまして、青年部会員間の「交流会」、学校茶道の先生や学生さんの協力をいただきまして、日ごろお世話になっていらっしゃる方々をお招きする「青年部・学校茶道合同茶会」の開催、また卒業される先輩方へ感謝の気持ちを込めてお見送りする「送別茶会」を行っております。

そして、茶道をより親しもうと「モノづくり」を行う年もございます。

平成二十七年の行事としま

しては、五月に札幌芸術の森にて来場者に一服を差し上げました。



青年部新体制二期目で、役員も一新した初めての呈茶席。会員一丸となって取り組んだ行事でした。

六月には「親子茶道教室」を開きました。

お菓子を食べ、茶筌を振ってお茶に少しでも触れてもらえるような体験型の教室を考えました。



先生役の会員の話を真剣に、興味深く聞いてくださり、「楽しかった」「抹茶が想像よりおいしかった」という子供たちの素直な感想がとても嬉しく感じた行事でした。

「青年部・学校茶道合同茶会」では、濃茶席と点心席を青年部が、薄茶席を学校茶道が担当します。

茶会のテーマや点心の献立を決める作業に苦勞する事も

ありますが、知恵や経験を増やせる貴重な茶会となっております。

最後となりますが、札幌第二青年部は、いざというときの集中力・団結力が自慢の笑顔が絶えない明るい青年部です。



札幌第三青年部

部長 梅田 直子

私たち札幌第三青年部は、人数は多くありませんが、楽しく笑いの絶えない青年部です。一年を通じて色々な活動を行っております。



《学校茶道交流茶会》は、

一番の行事で学校茶道連絡協議会の先生のご理解のもと二十四年ほどに渡り、高校・大学の生徒・学生さんと開催しております。数か月前から打ち合わせを重ね、前日から学生さんも交えてリハーサルを行い、所属校の先生や茶道部の学生さんに心を込めて一服を差し上げています。毎年茶会に真摯に向き合う学生さんを見るたびに初心に戻る気持ちが出て身が引き締まります。



また、今年は《茶碗づくり体験》も企画しまして市内の陶芸教室にお邪魔してそれぞれ茶碗を作りました。慣れない作業に四苦八苦する会員もおりましたが、苦勞の甲斐があってそれぞれ個性的な茶碗が出来上がりました。

このときのお茶碗は学校茶道交流茶会でお披露目させて頂きました。

毎年秋頃には児童養護施設興正学園へ訪問し、お呈茶と

マナー教室をさせて頂いています。幼児から高校生までの園生が対象で、互いにお茶を点て合い楽しそうに飲む姿には思わず笑みがこぼれます。いずれも心に残る思い出深い行事となっています。

札幌第四青年部

部長 鏡 浩二

札幌第四青年部は、ものの芽青年部、りら青年部、鈴華青年部の三つの青年部が組み合わさり、現在の形となりました。会員は六十名あまりが在籍し、主に札幌を中心に活動しています。



お呈茶や体験研修など、お茶を通じた会員交流の場として、また社中を横断した交流の場として活動しています。

札幌を代表する観光名所である札幌時計台でのお呈茶では、市民や観光客の方々にも心を込めたお茶をお出しし、また子供たちを対象とした児童会館での茶道教室では、茶筌振りに苦戦する子供たちとともに、一碗の大切さを改めて感じています。

中でも年に一度開催しています「四茶会」と題した札幌第四青年部主催の茶会では、毎年お客さまにお楽しみいただけるよう趣向を凝らし、会員が一丸となって準備・実行しています。

体験研修も積極的に行っており、干菓子作りや家紋刷り体験、帯締め作りや書道体験など、日々のお茶に活かせるような、様々な研修を行っています。

同じ志を持った仲間達との絆を深めながら、これからも様々な活動を通じて、茶人としての修練を忘れず、奉仕の信条とともに、青年部の友情を深めてまいりたいと思います。

この度、北海道ブロックは創立四十五周年を迎えます。北海道の青年茶人として、今後の五十周年、六十周年を見据え、広い北海道の十七の青年部とともに、今後益々茶道

文化の普及発展に努めてまいります。



岩見沢青年部

部長 吉井 榮希

「温故知新」をテーマに、今日まで諸先輩が築いて来られた伝統を、次代の中心を担うであろう若い会員さん達に伝え、その若い方々が自由な発想で、その伝統を今の時代に沿った形でアレンジ出来る様な青年部にしていきたいという思いで、そしてその為の中継ぎピッチャーのつもりで部長という大任を御引受けさせて頂いて一年が過ぎようと致しております。

岩見沢青年部は、会員数二十四名のこぢんまりとした青年部ですが、その分家族的でチームワークが良く、各々の立場を尊重し、助け合いの心が育まれた、穏やかな青年部

であると自負致しております。

活動と致しましては、例年「青年部茶会」と「研修」行事、「卒業」並びに「歓迎」行事を開催させて頂いております。

今年の「青年部茶会」に於きましては、清新さを前面に、中学一年生の女性会員さんと高校一年生の男性会員さんに御点前を頑張って頂き、年長の会員さん達が支える茶会に致しました。



中学校1年生でも頑張りました(笑)

更に、青年部らしい自由な発想をとという考えの下、点心席に於きましても、「夏休み」

をテーマに、遊び心を設えに表現致しました。



遊び心満点!!の点心席(驚)

特筆すべきは、ビーチボールのスイカを一度持ち帰り、食後のデザートに本物のスイカを切って御出しする演出には、御客様皆様より御好評でした。

この様な自由で奔放な発想を、暖かい目と心で見守って下さる支部の親先生方に、そして僅か二十四名の会員では不可能な事も、縁の下で支えて下さる、当青年部を卒業された諸先輩に、いつも感謝の念を抱き続けて、活動させて

頂いております。



卒業生有志の方々の助けを借りて、何とか無事…(汗) 感謝!!

また研修行事では、今日まで「陶芸教室」「練香教室」「座禅・写経体験」「料理教室」「茶杓作り」等を開催して参りましたが、今年は若い会員さん達が自主的に「自分で着物を着られるように・・・」と、自分達で講師を依頼し、年長の会員さんが補助をする形で「着付け教室」を開催致しました。

このチームワークの良さが、これからも受け継がれて行く事を、心から願う次第でございます。

空知青年部

部長 長谷川 昌子

空知青年部は、滝川市を中心に東は深川市、上富良野町、北は留萌市、小平町、南は札幌市、石狩市と広範囲にわたって会員がいます。集まるだけで数時間かかるなか、仕事・家事・育児・学業と忙しい合間に時間をつくって活動に参加しています。会員数は新体制移行時十三名と少なかったのですが、先生方のご協力のおかげで現在二十名にまで増えました。「仲間との絆を深め、楽しく学ぶ茶の心」をテーマに掲げ、小学生や学生の若い方から指導者のベテランまで幅広い世代と、それぞれの個性を生かしたアイデアで、

茶会などの行事も心を一つに活動しています。

『支部茶会』

秋の支部茶会で青年部席を設けさせていただいています。何ヶ月も前から道具組や設え、お菓子決めなどみんなの知恵を出し合い、お客様に楽しい時間を過ごしていただくために様々な趣向を考えています。青年部の一番大きな行事であり、達成感を味わえる活動です。



『卒業茶会・クリスマス茶会』

十二月にはお世話になった先輩の卒業茶会、卒業生がいない年はクリスマス茶会として行っています。どちらもいつもお世話になっている支部の先生方をはじめOBのみなさまをご招待して、心に残るひとときを過ごさせていただいています。



『北海道ブロック研修会』

平成二十二年五月十五・十六日の二日間日程で主管をさせていただきます。支部の

先生方をはじめ、OBの先輩のお力をお借りし、会員一人一人が何役もこなしながら研修会を迎えました。当時の「すずかけ青年部」が一丸となった行事でした。



空知の先輩方が残してきた歴史やこれまで活動してきたことを大切にし、これから私たちができることに力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。先生方、諸先輩方に支えられていることに感謝し、お茶を通じてこれからも信頼しあえる仲間をつくっていきたいと思います。

室蘭青年部

部長 平 明子

室蘭青年部は、どちらかと言うと常にチャレンジャーだと思っています。

このチャレンジャー精神は、脈々と受け継がれて来たものであり、急に湧いて出てきたわけではないのです。苦難であったり、試練であったりすると、会員一同頭を寄せ合い、試行錯誤し前進を目指します。一時期の会員が多く在籍していた時と比較すると二十名弱と大幅に減少していますが、茶道に対する思いだけは変わらず、少ないながらも、集まって、自分たちが楽しめることを目標に一年間の行事を進めています。

室蘭青年部には、代々継続されている行事があります。室蘭市の「成人祭の呈茶」

がその一つに挙げられます。新成人の方々へ室蘭の市章の入った紋菓と一服のお茶を添えてお祝いするこの行事から、室蘭青年部の新年は始まります。



平成27年度 成人祭呈茶にて

そして、総会です。二月又は三月に親先生をご招待しての開催です。会計書類の準備や総会運営の段取り、親先生方への呈茶の準備と共に、東日本大震災の時期に重なることから、大震災を記憶にとど

めることを目的に東北にゆかりのあるお菓子をとり寄せ、親先生方をお迎えします。



平成27年度 室蘭青年部総会

総会を終えた後は、早々に片付け、場所を移しての新人会員歓迎会。又は親睦会となります。お食事をしながら親睦を深めます。「今年のお茶会はどんなお茶会にしようか」とか「お菓子はなににしようか」とか年齢や仕事や立場の違う者たちがお茶という共通の話題で語らうのです。

お茶会は、青年部会員が少ないこともあり、親先生や卒業生のお力をお借りしながら

ではありますが、年に一回開催させて頂いております。室蘭青年部らしいお茶会を試行錯誤し、身の丈に合ったお茶会を目標にしながらも、お越しくださるお客様の笑顔を求めて頑張ってしまうのも、青年部活動の特徴かもしれません。

そして十二月、チャリティー呈茶と卒業生を送る会で一年が締めくくられます。少ないながらも頑張ってくれる会員の皆様、そして、支



平成26年度 風待月の茶会

えてくださる親先生方、卒業生の皆様、本当にありがとうございます。

合掌

伊達青年部

部長 大木 英吾

私たち伊達青年部は、二年に一度、伊達支部の親先生をご招待して小寄せ茶会を催しています。

今年には六月に開催することになり、会員で企画を持ち寄



り、立礼の点前で行うことを決めました。

前日は会員の皆さんと会場の準備をしました。

茶会当日は最初に点心を召し上げて頂き、その後煮物碗をお出しし、よく冷やしたゆずのジュースを添えました。主菓子には涼しさが感じられる「氷室」を召し上がっていただきました。



次に別室に移動していただき、静寂のなか粛々と濃茶点

前を行い、親先生方に一服のお茶を差し上げることができました。

その後、席を改めてから薄茶点前を行いました。



親先生を前に緊張の連続の濃茶席から一転し、薄茶席は和やかに進み、リラックスした雰囲気の中、無事に小寄せ茶会を行うことができました。

今回伊達青年部では、小寄せ茶会を紹介させていただき

ましたが、この他にも陶芸教室、帛紗挟みやあずま袋を作る手芸教室や茶花教室等々行っています。



今後も伊達青年部では普段のお稽古に役立つような「学び」と地域社会のお役にたてるような「活動」を行っていききたいと思います。

苦小牧青年部

部長 佐渡 佳子

苦小牧青年部では先輩達から引き継いだ伝統や思いを次に繋げることが出来るように日々精進し、みんなで楽しむ事を目指して活動をしています。

今年は夏にブロック行事である子供茶道教室の主管を控えていたため、二月に行われた『総会・会員研修』では、子供茶道教室についての話が中心でした。午前中の総会では幹事長先生をはじめとした青年部育成委員会の先生達と会員に向けての説明を。午後の会員研修では、事前に出されていた干菓子作りや石臼体験などの企画案を実際に会員が体験をし、子供を対象にした場合の改善点や工夫について

話し合われ、活発な意見交換がなされていきました。



まずは自分たちで干菓子作り

三月には平成二十四年より続いている『東日本大震災追善茶会』を、花ロードえにわで行いました。お天気に恵まれ、一五一名のお客様に足を運んでいただき、募金は四万八九二三円集めることが出来ました。震災から四年が過ぎ、人々の記憶の中から風化しつつある被災地の現状に目を向けるきっかけになったのではないかと感じています。会員にとっても平成二十八年に予定されているナショナルコン

ファレンス2016 inいわきに向けて考えるいい機会となりました。



追善茶会で記念撮影

子供たちに茶道を通して日本の伝統文化に親しんでもらうため『第一回子供茶道教室』が七月二十六日(日) 苦小牧市文化交流センターで開催されました。幼児や小学生とその保護者を対象に、マナー教室・抹茶点て体験・干菓子作り体験・茶道紹介の展示をスタンプリー形式で回ってもらい、楽しく茶道を知ってもらえるように工夫をしました。参加

者からは、展示で学んだにじり口を体験してみたい、自分でお茶を点てておもてなしをしたいなどの声が聞こえてきました。参加人数も一二五名の方に来ていただき、地域にお茶が広まってくれ、地域にかけに出来たのではないかと思います。また苦小牧支部の親先生には、暑い中お呈茶席を設けていただき感謝申し上げます。



マナー教室の様子

この他にも毎年親先生と共にお席をかけさせていただいているチャリティー茶会、ファミリークリスマス会など実施しております。

旭川青年部

部長 虻川 美樹

旭川青年部は、会員数三十九名で活動しております。主な活動地は旭川ですが、会員の居住地は幅広く北見や紋別、深川、浜頓別など遠方から足を運ぶ会員もおり、行事の度に北海道の広さを改めて感じます。



旭川青年部総会 親先生とご一緒に

会員間はもとより親支部先生との結びつきも非常に強く、年に一度、親支部との合同茶会を行っており、常に温かく見守っていただき、青年部活動への理解、協力を惜しみなくいただいております。



二者合同チャリティー茶会

今年の合同茶会のテーマは、カムイミントラでした。旭川を囲む雄大な自然と地元で生まれているお道具を使用したしました。小さなお子さん方に着物を着てお手伝いして頂き、お茶会がより華やかになりました。

毎年六月五日の護国神社大祭の折には藤棚の前で野点を行い、参拝者へ一服のお茶を差し上げております。今年は、特にドイツからのお客様も多く、たくさんの方々にお茶を差し上げる事が出来ました。



北海道護国神社慰霊大祭 ドイツ吹奏楽団の皆さまと

毎年夏には会員、先生方も協力を頂いて鶴を折り、平和を祈念して広島、長崎へ千羽鶴の献納しております。



お茶会で使う水には毎回、旭川市内の酒造会社や東川町、美瑛町、上富良野町など、大雪山系から裾野の各町へ流れる伏流水を使わせていただいています。

卒業茶会は、これからですが毎年卒業される先輩方の趣向を凝らしたお茶会を楽しみにしており、新鮮なアイデアや工夫がたくさんみられます。卒業生からの茶会の後に、会員手作りの卒業式・忘年会で一年の締めくくりです。

帯広青年部

部長 中川 愉美子

私達の青年部は、旧青年部体制の頃からの継続行事として「チャリティー茶会」を行っています。帯広支部の親先生の皆様は勿論、一般の方にもご案内をしており、毎年多くのお客様にお越し頂いています。



平成26年チャリティー茶会

最近では、東日本大震災義援金箱を設け、多くの皆様にご賛同いただき、義援金と収益の一部を寄附させて頂いております。

会員研修では、お茶会に使用できる作品を主に製作しています。十勝の作家さんに指導して頂きながら茶碗や菓子器、蓋置、火入れなど会員が思い思いにデザインをして楽しみながら作品を製作する事が出来ます。

今年も、株式会社柳月様のご指導のもと「和菓子作り」に初挑戦いたしました。



親子で参加の会員もおり、子育てをしながら活動に参加できる青年部らしい会員研修となりました。



会員研修「和菓子作り」

夏は、社中を超え会員同志が近況報告や情報交換するなど終始和やかに交流できる行事として「サマーパーティー」を企画しております。

一年の最後の行事として「卒業茶会」を催し、卒業生をお招きしてこれまでの活動への労を労います。卒業生との

思い出の道具を使用するなど、これまでの感謝の気持ちを込め、これからの更なる飛躍を祈念して会員一同でおもてなしました。

各行事において、会員で知恵を出し合い、目標に向かって気持ちをひとつに取り組んでおります。

私達帯広青年部が今こうして活動が出来ますのも諸先輩が積み重ね、私達へとつなげて下さったおかげによるものと感謝を感じずにはられません。この気持ちを持って私達も次に「つなげる」そして「つながる」活動を今後も続けて行きたいと思えます。

北見青年部

部長 中條 睦

北見青年部は宮川寛隆ブロック長の在籍青年部でもあり、親先生をはじめ青年部一同も、安心してブロック行事に集中できるよう後方支援に努めたいと頑張っています。

さて私たち北見青年部の紹介を少しさせていただきます。平成二十六年にブロック研修会を主管させて頂きましたので、おいで頂いた方も多いのではないのでしょうか。道東に位置し、特産は玉ねぎで生産量は日本一、ホタテの水揚げ量・白花豆の生産量も日本一です。

こんな北見の地から伝統文化である茶道を広く皆様に知って頂くため、又自身の技術の

向上や見識を深めるためにも六十五名にて現在活動中であります。



活動の主な内容は、

四月春には総会をかねて、親先生方をお招きしてのお呈茶席。

十月には毎年、親支部と学校茶道・青年部合同で北見市の菊まつりに合わせてのチャリティー茶会（益金はユニセフを通じて世界中の子ども達や、東日本大震災に寄付させていただきます）



同じく秋には青年部発案で始まった「遠軽町図書館祭り」において、お呈茶席を設けさせて頂いたとき、こちらは七回目を迎えることができました。どちらも多くの市民や町民の皆様にも、その設えやお菓子などを通じて茶道の世界観を堪能していただいております。

又今年初の試みとしては、北見で七月に行われる「ぼんち祭り」に合わせて茶会を開催させて頂きました。「夏祭り」という場所柄、部員もドレスコードを浴衣に統一し、場所は副支部長様の和菓子店のお休みどころをお借りしました。（学生さん達も参加しやすかつ

たみたいですよ）道行く人からも「今までに無かった試みで良いね!」「お茶って美味しいね」など多くの嬉しいお言葉を頂きました。



このように北見青年部は地域密着型の活動を展開し、地域貢献、茶道文化の向上に一役を担えればと奮闘し、自身の向上のためと仲間作り、そして何よりも大好きな「茶道」をこれからも道東の地にて頑張っていきたいと思えます。

網走青年部

部長 槻間 いずみ

網走青年部は、地域に根ざした活動に取り組む為、日本百名山の斜里岳の麓に流れる来運水源地の水を汲み、地元の窯元のお茶碗を用いてお茶会をするなど、土地柄を生かした活動を心掛けています。

主な活動と致しましては、親支部と合同で参加させていただいているJR北海道の観光トロッコ列車「流水ノロッコ号」にて乗車されたお客様にお呈茶をさせて頂いております。

オホーツク海の流水の景色を見ながらのお抹茶のおもてなしに、居合わせたお客様に

は大変喜んで頂きました。



また、お道具に親しみを持ち、自分で作ったお道具でお茶会をしたいという気持ちから、陶芸や茶杓削りを行ってまいりました。

本年は古帛紗作りを行い、それぞれに愛着の湧く古帛紗を作成することができました。作成したお道具を今後、お茶会等で披露する機会が待ち遠しいです。

秋には網走市女性センターフェスティバルにおきまして、お茶会をさせていただいております。

女性センターの利用者の方々や一般のお客様に楽しいひとときを過ごしていただけるように、話し合いを重ね、準備をしております。



多くのお客様に喜んで頂き、私たちにとっても励みになりました。

私たち網走青年部は現在十六名で活動しております。活動できる人数が少なく、力不足でもあります。親先生や諸先輩方が支えてくださり、お力添えを頂きながら、様々な行事をさせていただけることに感謝しています。



鉦路青年部

部長 小形 里美

私たち鉦路青年部は、毎年鉦路で行われる「港まつり」にて、鉦路市民の皆様にお呈茶を差し上げ、お茶の魅力をアピールさせていただいております。

【港まつり呈茶】を今年も鉦路市北大通にて行うことができました。多くの学生青年部の方にお手伝いをいただき、二六〇名近くの市民の皆様にお祭りらしく浴衣姿で一服差し上げることができました。学生青年部の方にも、御園棚でのお点前をしていたいただきました。すがすがしい姿がお祭りに花を添えてくれました。毎年楽しみに足を運んでくだ

さる市民の方々もおり、お声を掛けていただくことが励みになっております。



七月には親支部行事の【茶筥供養のお呈茶席】を担当させていただきました。青年部会員も茶筥を火にくべ茶筥に感謝をささげ、ご参列の会員の皆様にお呈茶をさせていたいただきました。和室での薄茶席でしたので、足運びやご挨拶などを確認するなど、一人一人ができることを頑張りました。また、学生の方々にもお

手伝いいただき、若々しい青年部らしいお席になりました。



学校茶道の行事【花入れつくり】に参加させていただきました。鉦路支部会員でもありません、鉦里薫の高橋先生にご指導を受け、昨年のお茶碗造りに続き、花入れ造りを行いました。自分の作りたい花入れの形に合わせて、手び練りやろくろで作製させていただきました。それぞれの思いがこもった、素敵な作品に仕上がりました。



根室青年部

部長 奥田 友紀

私たちのマチ根室

日本最東端のマチ根室青年部です。日本で一番早く朝日を見ることができ、晴れていれば北方領土の島々が眺められる「納沙布岬」、海岸線の四季折々の花々や野生動物、冬の流水、自然と幻想的な景観を楽しむことができます。季節ごとの海産物と農産物が豊富で、イベントも多く、食を楽しむことも出来ます。

根室青年部の歩み

根室青年部は、昭和五十二年に根室支所青年部が設立。

その後、昭和六十年に北海道ブロック総会を青年部主管で実施、伊住宗晃宗匠夫妻が来根されました。

昭和六十一年根室支部に昇格。平成五年に東耀青年部承認。平成六年第十五回少年少女ジャンボリー主管、平成十二年第二十九回北海道ブロック研修会主管。平成二十五年に根室青年部承認。支部五十年、青年部三十五周年を迎えました。

根室青年部の一年間

*年間テーマ

「日出るマチの挑戦〜学び・伝え・広めよう〜」

現在、根室青年部は、十二歳から五十歳の十六名で、人との出会いを大切に、より深い絆で結ばれますよう、楽しく元気に活動しています。



二月 支部親先生、幹事の方々をご招待して、行われる総会と歓送迎会茶会。

六月 根室市グループ展示会場での市民茶会は、支部と地元高校茶道部、青年部が順番に三日間お呈茶しています。

八月 青年部で企画する納涼茶会やピクニック茶会を二年に一度開催。

九月 講習会・茶会を隔年で開催し、和菓子作りや、陶

芸、着付けなどプロの技を学び、チャレンジしています。
十月 根室市産業フェスティバルで茶屋を出店し、地域の皆様へ、野外でお呈茶させて頂いております。



十一月 根室市文化祭展示期間に、支部、高校茶道部、青年部が一日交代でお呈茶しています。

十二月 チャリティークリスマス茶会を開き、お呈茶と募金活動を行います。終了後の忘年会も楽しみの一つです。

北海道ブロック45年のあゆみ

昭和45年	3月1日	北海道ブロック協議会発会式（札幌）
昭和46年	2月28日 10月9・10日	第二回北海道ブロック協議会総会（旭川） ブロック研修会（大雪青年の家／旭川）
昭和47年	6月4日 9月22・23日	第三回北海道ブロック協議会総会（札幌） 第一回大雪青年の家研修会（旭川）
昭和48年	4月1日 7月21日 9月22・23日	第四回北海道ブロック協議会総会（小樽） 第三回青年部全国大会（京都） 第二回大雪青年の家研修会（旭川）
昭和49年	2月24日 6月15～25日 10月19・20日	第五回北海道ブロック協議会総会（帯広） 第一回裏千家青年の船（沖縄・香港） 第三回大雪青年の家研修会（旭川）
昭和50年	5月24・25日 9月14日	第四回大雪青年の家研修会（旭川） 第六回北海道ブロック協議会総会（函館）
昭和51年	6月20日 7月3・4日 10月9・10日	第七回北海道ブロック協議会総会（室蘭） 第四回青年部全国大会（京都） 第五回大雪青年の家研修会（旭川）
昭和52年	7月9～19日 9月11日 10月9・10日	第二回裏千家青年の船（沖縄・香港） 第八回北海道ブロック総会（岩見沢） 第六回大雪青年の家研修会（旭川）



昭和53年	9月24日 10月28・29日	第九回北海道ブロック総会（空知） 第七回大雪青年の家研修会（旭川）
昭和54年	6月3日 7月7・8日 10月13・14日	第十回北海道ブロック総会（北見） 第五回青年部全国大会（京都） 第八回北海道ブロック研修会（札幌第一・二）
昭和55年	6月7・8日 7月6～19日 8月9・10日 9月14・15日	第九回北海道ブロック研修会（小樽） 第三回日中友好文化交流裏千家の船（中国） 第一回少年少女親子ジャンボリー（旭川） 第十一回北海道ブロック総会（札幌第一・二） 北海道ブロック創立十周年記念式典
昭和56年	5月23・24日 8月6・7日 10月10・11日	第十回北海道ブロック研修会（帯広） 第二回少年少女親子ジャンボリー 豪雨のため中止（空知・岩見沢） 第十二回北海道ブロック総会（伊達）
昭和57年	5月22・23日 7月17・18日 8月2～9日 10月16・17日	第十一回北海道ブロック研修会（函館） 第六回青年部全国大会（東京） 第19次日中友好裏千家茶道文化交流団（中国） 第十三回北海道ブロック総会（釧路） 親子ジャンボリーと改名 第三回は各支部で実施
昭和58年	6月4・5日 8月6・7日 10月10日	第十二回北海道ブロック研修会（室蘭） 第四回北海道ブロック 親子ジャンボリー（旭川） 第十四回北海道ブロック総会（苫小牧）

昭和59年	6月2・3日 7月7～20日 8月4・5日	第十三回北海道ブロック研修会（岩見沢） 第四回日中友好文化交流裏千家の船（中国） 第五回北海道ブロック 親子ジャンボリー（小樽）
昭和60年	9月16日 6月1・2日 7月27・28日	第十五回北海道ブロック総会（網走） 第十四回北海道ブロック研修会（空知） 第六回北海道ブロック 裏千家ジャンボリー（札幌第一）
昭和61年	10月10・11日 9月22・23日 5月31日 8月2・3日 10月26日	第十六回北海道ブロック総会（根室） 第七回青年部全国大会（京都） 第十五回北海道ブロック 親子合同研修会（札幌第二） 第七回北海道ブロック裏千家ジャンボリー（帯広） 第十七回北海道ブロック総会（旭川）
昭和62年	7月5～19日 6月6・7日 8月2・3日 9月20日	第十六回北海道ブロック親子合同研修会（北見） 第五回裏千家の船（中国） 第八回北海道ブロック裏千家ジャンボリー（函館） 第十八回北海道ブロック総会（札幌第三）
昭和63年	10月30日 9月4・5日 8月6・7日 6月4・5日	第十九回北海道ブロック総会（苫小牧） 第八回青年部全国大会（京都） 第九回北海道ブロック裏千家ジャンボリー（室蘭） 第十七回北海道ブロック親子合同研修会（伊達）

平成元年	5月20・21日 8月5・6日 10月1日	第十八回北海道ブロック親子合同研修会（札幌第四） 第十回北海道ブロック裏千家ジャンボリー（釧路） 第二十回北海道ブロック総会（小樽）
平成2年	5月19・20日 7月28・29日 10月28日	第十九回北海道ブロック親子合同研修会（札幌第一） 第十一回北海道ブロック裏千家ジャンボリー（網走） 第二十一回北海道ブロック総会（空知）
平成3年	5月18・19日 8月10・11日 10月27日	第二十回北海道ブロック親子合同研修会（帯広） 第十二回北海道ブロック 裏千家少年少女ジャンボリー（札幌第二） 第二十二回北海道ブロック総会（岩見沢）
平成4年	4月25・26日 6月6・7日 8月8・9日 11月1日	第九回青年部全国大会（京都） 第二十一回北海道ブロック親子合同研修会（釧路） 第十三回北海道ブロック 裏千家少年少女ジャンボリー（旭川） 第二十三回北海道ブロック総会（北見）
平成5年	5月8・9日 7月5～17日 8月7・8日 11月14日	第二十二回北海道ブロック親子合同研修会（小樽） 第六回裏千家青年の船（サイパン・グアム） 第十四回北海道ブロック 裏千家少年少女ジャンボリー（札幌第三） 第二十四回北海道ブロック総会（札幌第四）

平成6年 4月23・24日

第二十三回北海道ブロック親子合同研修会
(函館)

7月30・31日

第十五回北海道ブロック

裏千家少女ジャンボリー(根室)

9月3日

北海道ブロック合同認証式(札幌)

10月30日

第二十五回北海道ブロック総会(室蘭)

平成7年 5月6・7日

第二十四回北海道ブロック

親子合同研修会総会(苫小牧)

6月17・18日

第十回青年部全国大会(京都)

7月29・30日

第十六回北海道ブロック

裏千家少女ジャンボリー(岩見沢)

11月12日

北海道ブロック創立二十五周年記念式典(札幌)

平成8年 6月1・2日

第二十五回北海道ブロック研修会総会
(札幌第三しらかば)

6月24日

第七回裏千家青年の船(天津・北京・大連)

7月27・28日

第十七回北海道ブロック

裏千家少女ジャンボリー(北見みんと)

平成9年 6月21・22日

第二十六回北海道ブロック研修会総会(網走)

8月3日

第十八回北海道ブロック

裏千家少女ジャンボリー
(ニセコ・札幌第四りら)

平成10年 3月20・24日

第八回裏千家青年の船(小笠原・硫黄島慰霊)

4月29日

第十一回青年部全国大会

5月12日

一〇〇日四〇〇回リレー茶会

平成11年 6月6・7日

第二十七回北海道ブロック研修会総会
(札幌第二北斗)

7月12日

北海道ブロック茶会(札幌)

8月1・2日

第十九回北海道ブロック

9月5・6日

裏千家少女ジャンボリー(滝川・空知)

10月17日

第十一回青年部全国大会(京都)

平成12年 5月13・14日

第二十九回北海道ブロック研修会総会(根室)

8月12・13日

第二十回北海道ブロック

9月8・10日

裏千家少女ジャンボリー(札幌第四鈴華)

11月19日

第十二回青年部全国大会(京都)

平成13年 1月28日

北海道ブロック創立三十周年記念茶会(札幌)

6月23日

四役・会計研修会(札幌)

7月3日

第九回裏千家青年の船(天津・北京・大連)

8月25・26日

第三十回北海道ブロック研修会総会
(札幌第四ものの芽)

11月18日

北海道ブロック茶会(札幌)

平成14年 4月20・21日

第三十一回北海道ブロック研修会総会(帯広)

5月19・20日

北海道ブロック宗家研修(京都)

平成18年	6月29・30日	第二十一回北海道ブロック 裏千家少女ジャンボリー（小樽）
	7月19～21日	第一回サマーコンファレンス（東京）
平成15年	2月23日	役員研修会（札幌）
	4月26・27日	第三十二回北海道ブロック研修会総会 （札幌第三ゆきはな）
	9月5・6日	第十三回青年部全国大会（京都）
	10月26日	北海道ブロック茶会（札幌）
平成16年	5月7・8日	第三十三回北海道ブロック研修会総会（釧路）
	8月28・29日	第二十二回北海道ブロック 裏千家少女ジャンボリー（室蘭）
平成17年	2月27日	役員研修会（札幌）
	5月14・15日	第三十四回北海道ブロック研修会（伊達）
	6月19・20日	北海道ブロック宗家研修会（京都）
	7月22～24日	第二回サマーコンファレンス（東京）
	11月20日	北海道ブロック創立三十五周年記念式典（札幌）
平成18年	6月3・4日	第三十五回北海道ブロック研修会（札幌第一柏）
	6月23日	第十四回青年部全国大会
	～7月6日	一〇〇日四〇〇回リレー茶会
	8月5・6日	第二十三回北海道ブロック 裏千家少女ジャンボリー（紋別・きたみ）



平成22年	9月29日 ～10月1日	第十四回青年部全国大会（京都）
平成19年	5月12・13日	第三十六回北海道ブロック研修会 （札幌第二北嶺）
	10月28日	北海道ブロック茶会（札幌）
平成20年	5月10・11日	第三十七回北海道ブロック研修会（北見みんと）
	7月18～20日	第三回サマーコンファレンス（東京）
	8月9・10日	第二十四回北海道ブロック 裏千家少女ジャンボリー（札幌第一楡）
平成21年	2月15日	役員研修会（札幌）
	5月16・17日	第三十八回北海道ブロック研修会 （札幌第四りら）
	10月1日～	第十五回青年部全国大会プレ行事 「わたしの一盃」運動
平成22年	3月19日	北海道ブロック茶会 「はじめての茶道・体験会」（札幌）
	11月15日	
平成22年	3月20・21日	第十五回青年部全国大会（京都）
	5月15・16日	第三十九回北海道ブロック研修会（滝川・空知）
	10月30・31日	北海道ブロック創立四十周年記念式典（札幌）

平成23年

2月20日

役員研修会（札幌）

5月14・15日

第四十回北海道ブロック研修会（札幌第三鈴華）

7月30・31日

第二十五回北海道ブロック裏千家少年少女ジャンボリー（函館ともえ）



第40回ブロック研修会



懇親会「スタッツ」（同上）



第25回ジャンボリー「デモンストレーション」

5月19日

第四十一回北海道ブロック研修会（小樽うしお）

7月21～23日

第四回サマーコンファレンス（東京）

12月9日

北海道ブロック茶会（札幌）



第4回サマーコンファレンス「東京道場前」



第41回ブロック研修会



ブロック茶会「薄茶席」



第41回ブロック研修会
「研修Ⅱ 高橋英一講師」

平成
25
年

2月17日

役員研修会（札幌）

5月18日

第四十二回北海道ブロック研修会（室蘭）

9月1日

北海道ブロック茶会（札幌）



役員研修会



第42回ブロック研修会



呈茶席（同左）



ブロック茶会「濃茶席」



「薄茶席」（同左）

平成26年

5月16～18日

ナショナルコンファレンス2014（京都）

7月12日

第四十三回北海道ブロック研修会（北見）

11月23日

北海道ブロック茶会（札幌）



ナショナルコンファレンス2014
「裏千家学園 呈茶席」



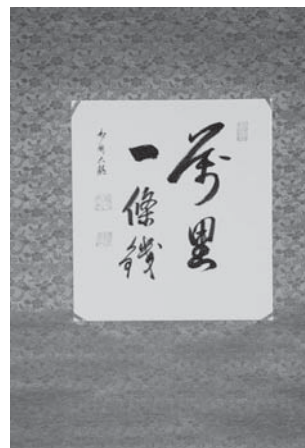
第43回ブロック研修会「呈茶席」



ブロック茶会



研修Ⅰ「L・T報告」（同上）



待合
（同上）

平成27年

2月22日

役員研修会（札幌）

5月30日

第四十四回北海道ブロック研修会（札幌第一）

7月26日

第一回子供茶道教室（苫小牧）

11月22日

北海道ブロック創立四十五周年記念式典（札幌）



役員研修会「部長グループミーティング」
〈テーマ：これから青年部でやってみたいこと〉



第1回子供茶道教室



第44回ブロック研修会



「干菓子作り」（同上）



「研修Ⅱ」（同上）

北海道ブロック歴代役員一覧

年 度		年 度												
3・4年	平成元・2年	62・63年	60・61年	58・59年	56・57年	54・55年	52・53年	50・51年	48・49年	47年	46年	昭和45年		
中野道晴	中野道晴	新田美奈子	新田美奈子	高橋佐臣	津留崎哲彦	徳丸義明	徳丸義明	余湖汀一	余湖汀一	余湖汀一	小泉歩	小泉歩		
伊村賀淳貴	伊黒藤木國俊昭春	中山野本島勝連瑠治雄	國藤島八瑠美子	國藤島八瑠美子	原高橋展きよみ	津留崎藤隆彦也	遠留藤裕英子教	川山村裕智子香	川竹村本重智昭香	林竹田本英智教香	小竹山本英智教香	余湖汀一	佐藤湖尋子一	群藤和子久
堤さえ子	堤さえ子	堤さえ子	中野勝雄	新田美奈子	新田美奈子	広田展子	伊藤康男	徳丸義明				徳丸義明	徳丸義明	
大八木かほる	大八木かほる	伊藤國昭	田所英国彦	中野勝雄	阿部周次	高橋佐臣	林田重昭	伊藤康男						
成田富貴子	西村三保子	小佐森順久美子	前山陽さえ子	堤高橋幸え子	高德橋幸瑛子	長崎永きよみ		伊藤康男			柳内島道芙美子	千葉輝雄	伊藤康雄	
佐々木久美子	中國野島勝瑠美子	前山陽さよみ	谷口布佐子	原坂きよみ	松遠平敦子也	松前平田敦暁子男		谷林口田布重子昭			岡部尚丸	服部令子	杉浦久夫	
													ブロック長	
													副ブロック長	
													ブロック幹事長	
													ブロック副幹事長	
													ブロック会計	
													ブロック監事	

25・26年	23・24年	21・22年	19・20年	17・18年	15・16年	13・14年	11・12年	9・10年	7・8年	平成5・6年	
乙部 真貴子	平川 健一	辨野 博之	伊賀 淳貴 (1月4月) 辨野 博之 (5月12月)	岡部 裕子	岡部 裕子	成田 富貴子	成田 富貴子	大八木 かほる	大八木 かほる	中野 道晴	
宮畑 寛奈 隆美	小武 島 英 恵	武田 恭 子	平川 健一	高谷 美 恵	井口 美 喜	伊賀 淳貴	福田 明 美	加藤 康 太郎	伊賀 淳貴	成田 富貴子	大松 尚 さえ 八木 かほる 村 枝子
小島 英 恵	乙部 真貴子	向島 みどり	元田 千 寿	高谷 恵美子	鈴木 なぎさ	岡部 裕 子	岡部 裕 子	岡部 裕 子	伊藤 昭	伊賀 淳 貴	
梶田 長谷 間 いずみ	長谷 中川 祥 子	奥山 裕美子	内山 富美子	平川 健一	片岸 法 恵	井口 美 喜	久保 明 美	加藤 康 広	岡部 裕 子	成田 富貴子	
佐藤 佳 子	窪田 佐智子	長谷川 佳代	乙部 真貴子	元田 千 寿	高谷 美 恵	阿部 祐 子	高谷 明 美	渡辺 さとみ	長崎 明 美	西崎 百合子	
平川 健一	上嶋 香里	吉岡 美佳	片岸 法 恵	福田 明 美	成田 富貴子	米澤 明 孝	大八木 かほる	伊達 政 市	村田 務 聡	佐々木 久美子	

北海道ブロック役員名簿

<p>ブロック長 宮川 寛隆 (北見)</p>	<p>副ブロック長 木野 奈美 (札幌第一) 高玉 美穂 (釧路)</p>	<p>ブロック幹事長 小島 英恵 (札幌第四)</p>	<p>ブロック副幹事長 川本 聖 (札幌第二) 長谷川 昌子 (空知) 田中 祥子 (帯広)</p>	<p>ブロック監事 武田 恭子 (札幌第三) 平 明子 (室蘭)</p>	<p>ブロック会計 佐渡 佳子 (苫小牧) 宿院 香里 (帯広)</p>
<p>ブロック委員 石田 智子 (函館) 加茂 有希子 (函館) 山田 郁代 (小樽) 中山 明日香 (小樽) 福田 由希 (札幌第一) 相馬 恭子 (札幌第二) 梅田 直子 (札幌第三) 伊藤 ひかり (札幌第三) 鏡 浩二 (札幌第四) 鎌田 裕子 (札幌第四) 吉井 榮希 (岩見沢) 金子 美里 (岩見沢) 金子 美和 (空知) 三村 紀子 (室蘭) 大木 英吾 (伊達) 高見 靖子 (伊達) 安田 典史 (苫小牧) 蛇川 美樹 (旭川) 西原 幸希 (旭川) 中川 愉美子 (帯広) 新谷 晴美 (帯広) 大野 睦子 (北見) 榎間 いづみ (北見) 小形 里美 (網走) 神山 雅代 (釧路) 小田 友紀 (釧路) 奥田 麻衣子 (根室) 小川 麻衣子 (根室)</p>					
<p>事務局員 森山 貴公 (札幌第一) 谷 香織 (札幌第一) 有田 裕美 (札幌第二) 國本 香梨 (網走)</p>					

茶道裏千家淡交会青年部

北海道ブロック創立四十五周年記念誌

発行日 平成二十七年十二月二十二日

発行責任者 宮川寛隆

編集責任者 田中祥子

森山貴公
谷香織
有田裕美
國本香梨

印刷 株式会社 弘文堂印刷

〒〇八〇—〇八〇一

北海道帯広市東一条南七丁目十三番地
電話(〇一五五)二六一二七六五番

